

# ICTで授業をDX!

学年 小学校3年 教科 音楽

## 誰でも簡単! 並び替えでリズムづくり♪

使用するアプリケーション等  
ミライシード  
(オクリンク)

単元・題材 拍のってリズムをかんじとろう

本時の目標 まとまりや反復、変化を意識しながら、4分音符と8分音符のリズムを組み合わせ、自分だけのリズムをつくる。

### ICTを活用することでできること

- ・ワークシート作成後、印刷せずに済むため、授業準備の負担を少なくすることができる。
- ・音符カードを切ったり貼ったりする時間を短縮できるため、リズムを考える時間をより多く作ることができる。
- ・ワークシートへ音符を描くことを苦手とする児童も、並べ替えるだけでリズムづくりに集中することができる。
- ・作成したデータを保存していくことができるため、積み重ねていくことで音楽のポートフォリオを作成することもできる。
- ・学級だけでなく、学年、学校全体、市内でのワークシートの共有がしやすい。

### DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

#### 1 導入

- ①毎時の活動を行う。
  - 校歌を歌う。
  - 教師→児童の順で様々なリズムパターンを打つ。

#### 2 展開

めあて 音楽の仕組みを使って自分だけのオリジナル三三七拍子をつくろう

- ①三三七拍子のリズムを知る。
  - 教師が作成した三三七拍子を見ながらリズム譜の読み方を学ぶ。
  - 教師のリズム譜を見ながら範奏を聞き、一緒に打つ。
- ②三三七拍子をワークシート上で作成する。
  - 自分が心地よく感じるオリジナル三三七拍子を音符カードで並べる。
  - 並べた音符カードをワークシートに貼る。

③児童の作成した三三七拍子を板書し、全体で演奏する。

#### 3 まとめ

- ①反復や問いと答え、終わり感等、本時の学習内容を板書しながらふり返る。
- ②今日のふり返りをワークシートに記入し、提出する。

DX!

### DX後 (赤字はICT活用場面)

#### 1 導入

- ①毎時の活動
  - 校歌を歌う。
  - 教師→児童の順で様々なリズムパターンを打つ。

#### 2 展開

めあて 音楽の仕組みを使って自分だけのオリジナル三三七拍子をつくろう

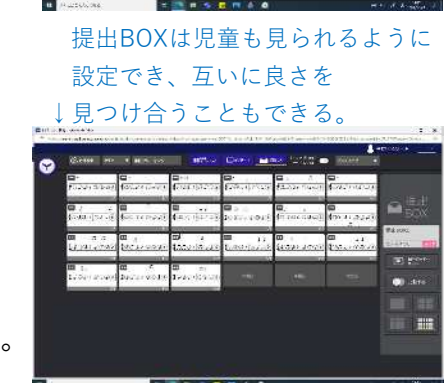
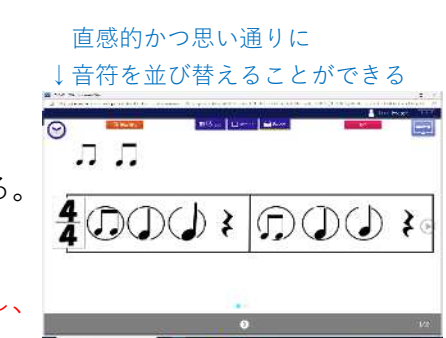
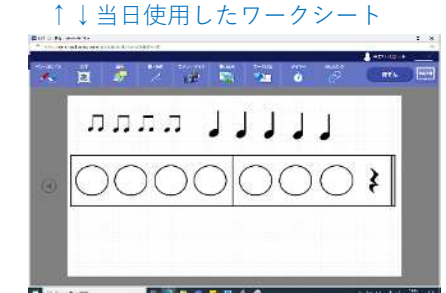
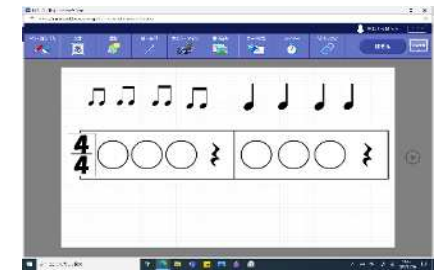
- ①三三七拍子のリズムを知る。
  - 教師が例を見ながらリズム譜の読み方を学ぶ。
  - 教師のリズム譜を見ながら範奏を聞き、一緒に打つ。

- ②4小節のリズムをオクリンクで作成する。
  - オクリンクで作成したワークシートを児童に送信する。
  - 自分が心地よく感じる三三七拍子をオクリンク上で音符を並び替えながら作成する。
  - 完成したらオクリンクの提出機能で提出する。

- ③作成した三三七拍子をオクリンクで共有しながら発表する。
  - お互いの三三七拍子をオクリンク上で共有しながら演奏する。
  - 自分の三三七拍子で工夫したところをオクリンク上の画面を見せながら伝える。
  - 児童の作成した三三七拍子を電子黒板を用いて全体で共有し、実際に手拍子で演奏する。

#### 3 まとめ

- ①児童の作成した三三七拍子を電子黒板に表示し、呼びかけと答え、反復等、音楽の仕組みをふり返る。
- ②今日のふり返りをワークシートに記入し、提出する。
- ③次時では自分の作成した三三七拍子を、友達の作成した物と組み合わせて長いリズムを作る事を伝える。



↑↓当日使用したワークシート

直感的かつ思い通りに  
↓音符を並び替えることができる

提出BOXは児童も見られるように  
設定でき、互いに良さを  
↓見つけ合うこともできる。

### 授業者から (成果・課題・留意点)

- ・成果は全体へ発表する際に大きく書き直してもらったり、写真を撮ってプロジェクターで映すなどの作業を減らしスムーズに共有できた点である。児童の作成したリズムをそのまま振り返りで活用することができるため、児童にとっても自分事として振り返ることができた。
- ・留意点は、オクリンクで作成したカード1枚に対し貼り付けられる画像が10枚と制限されていることである。これにより、音符の数に制限を設けなければならなかった。パワーポイントであれば、画像の枚数に制限がないため、高学年で行う場合にはパワーポイントの方が効果的かもしれない。